



# 希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA、 7-16 Sugawara-cho、 Kawagoe、 Saitama 350-0046 Japan

## 川越ワイズメンズクラブ会報

No. 20-08

2月号

発行 2019年2月14日

Chartered 1998

会長	森下 千恵子	クラブ会長主題	「ワイズメンズクラブを楽しもう！」
副会長	松川 厚子	国際会長主題	“Yes, we can change” [私たちは変えられる]
会計	山崎 純子	アジア太平洋地域会長主題	“Action” 「アクション」
書記	吉野 勝三郎	東日本区理事主題	「成せば、成る」 No challenge, No fruit.
		関東東部部長主題	「良いものを見つけ・つなげて、よくなるう」

### 2月の聖書

3ヶ月後、わたしは、この島で冬を過ごしていたアレクサンドリアの船に乗って出航した。ディオスクロイを船印とする船であった。わたしたちは、シクロイに寄港して3日間そこに滞在し、ここから海岸沿いに進み、レギオン着いた。

—中略—

こうして、わたしたちは、ローマに着いた。

新約聖書 使徒言行録 28章 11節 & 14節

After three months we put out to sea in a ship that had wintered in the island. It was an Alexandrian ship with the figurehead of the twin gods Castor and Pollux. We put in at Syracuse and stayed there three days, From there we set sail and arrived at Rhegium.  
--- And so we came to Roma.

(Acts 28,11 & 14)

### 2019年 2月 例会予告

日時：2月23日(土) 午後4:00～6:00  
場所：埼玉YMCA 川越センター

プログラム

- ・卓話  
「詩人・宮澤章二について」

宮澤新樹氏

利根川恵子さんの紹介です。どうぞ、多くの会員の皆さん、友人・知人を誘ってお集まり下さい。卓話者の宮澤新樹さんについては、下記の詳細な紹介をご覧ください。

その他の議題

- ・20周年記念例会準備確認と今後の予定
- ・その他

2月例会の卓話をお願いした宮澤新樹さんをご紹介します。宮澤さんと私は旧大宮市教育委員会で一緒にしたのを皮切りに、秘書課国際交流係ではまさに机を並べて勤務した仲間です。お父様譲りでしょうか、詩や小説を書き、歌の作詞もなさり、絵、写真もお得意。さらに歌も歌えば最近では口琴の普及に力を入れるなど、とにかくマルチタレントの逸材です。川越ともご縁があり、ビートルズのチカラ！埼玉支部長として、川越中央通り「昭和の街」を楽しく賑やかなまちにする会や尚美大学との共催で、「川越昭和の街にビートルズのチカラ！がやって来る」を2017年に開催しました。

さて、お父様の宮澤章二さんですが、東日本大震災直後のACジャパンのCM「思いは見えないけれど、

### 2019年1月の統計(1月26日)

在籍11名 出席者9名 出席率 82% (MUを含む)

t

思いやりはだれにでも見える」という詩の一節をご記憶でしょう。あの何度も見ても、聞いた詩は宮澤章二さんの詩です。詩の他に、「ジングルベル」の作詞を手がけ、300校にも及ぶ校歌の作詞をしています。川越市立では、上戸小、鯨井中、寺尾中、霞ヶ関小があります。また多くの童謡やラジオ歌謡の作詞もあります。

例会では、宮澤章二さんの詩についてお話をいただきますが、以下にご本人からいただいた宮澤新樹さんのプロフィールを掲載します。マルチタレントぶりをご確認ください。

#### 《プロフィール》

詩人・宮澤章二（1919～2005）の次男。さいたま市出身。県立浦和高校、早稲田大学政治経済学部卒業後、旧大宮市役所に奉職。合併後、さいたま市副教育長、大宮区長を歴任。

現在は、埼玉文化懇話会常任理事、埼玉ラジオ歌謡を歌う会顧問、ビートルズのチカラ！埼玉支部長、彩の国大宮口琴倶楽部副会長、国際都市 OMIYA を創る会理事、さいたま夢 KANA 音楽祭実行委員会委員、文芸誌「風土」会員

その他、さいたま市立美園小学校、大宮国際中等教育学校、東京日語学院校歌作詞、さいたま市立さくら草特別支援学校校歌監修、千葉県市川市共立幼稚園園歌補作詩。

大宮口琴エレジー、大宮盆栽小唄等作詞



(利根川 恵子)

## 1月例会の報告

利根川 太郎

### 1. 開会

点鐘・信条・ワイズソング

### 2. 卓話者紹介および卓話依頼の視点 利根川恵子

・卓話者：一般社団法人シェア・ザ・プラネット 代表理事 筒井哲朗氏

・長年海外協力NGOでご活躍なさり、現在はJICAの研修プログラムやNGOへのアドバイスなどを

手がけている筒井さんに、これまでのご経験やなぜこれまで国際協力の活動を続けてこられたのかを伺いたい。

ワイズメンズクラブも例えばTOFなどを通して募金活動での国際協力を行っているが、どのような視点で国際協力を行っているのが良いか、今後の国際協力を考える契機を伺いたい。

### 3. 卓話概要

・大阪出身で大学は琉球大学に進学。海洋学を専攻した。

・大学卒業後2年間青年海外協力隊に参加し、バングラデシュで魚の養殖のプログラムに携わった。

・帰国後、飼料会社の水産事業部立ち上げに携わるが、91年のサイクロン災害時に休職してJICA調査員派遣でバングラデシュに再び関わる。93年に飼料会社を退職し、特定非営利法人シャプラニール＝市民による海外協力の会職員に入職。4年前から現職。

・海外協力の主なフィールドは、バングラデシュやインド、ネパール

・これまでの活動の原点として思い浮かぶのは、大学時代の沖縄の「祭り」への参加経験。「ハーリー」や「大綱引き」など伝統的な「祭」の実行組織の中心に身を置いた。沖縄のことを知らない者がやっているといいのかという自問に、沖縄の人から「知らないからいいんだ」と言われたことが強く印象に残っている。

・海外協力にまっしぐらというより、多くの人との関わりの中で進んできた。企業に就職もしたし、休職退職の時も迷いはあった。その時々に関わった人の言葉が背中を押した。

・取り残された人々に着目した支援を視点に活動してきた。SDGs「No one will be left behind」の理念とも共通する。

・ダッカ襲撃事件は大きな衝撃を与えたが、実行犯の内3人は富裕層の出身。単純に貧困が事件を起こしたのではない。このように世界の状況はますます複雑化している。単一の企業や行政、NGOでは解決が難しい。

・「シェア・ザ・プラネット」は行政、企業、NGOが連携して機動力を持って海外協力に当たることを業務内容の柱としている。

・グローバルな世界の中で、温暖化や地域の貧困その他、自分たちの豊かな生活が世界に歪みを生じているという自覚、そのことが海外協力に目を向ける一つではないか。「こういう世界を」という提案が少しでもできたらと思う。

t

・国際協力は簡単ではない。現地の状況、何を改善しようとしているのかを熟考することが必要。支援する側の自己満足で終わってはならないと強く思う。



川越ワイズメンズクラブの皆様には、街頭募金へのご協力に加え、ワークキャンプへのご寄付をいただきましてありがとうございました。安全第一に行って参ります。(引率者：布目蓮)

### <春休みはYMCAで過ごそう>

春休み短期講習会、春休みキャンプのお知らせです。春休みは、リーダーと仲間と一緒にYMCAで過ごしませんか？すでに申し込みが始まっていますので、お問い合わせはお早めに！

<http://www.saitamaymca.org/information/pdf/2018/20190205springguide.pdf>

## 4. 例会議事

### (1)20周年例会について

- ①ドエルさんの講演だけ聴きたい人も受け入れる(会費は取らない)
- ②案内先は一覧の通り  
挨拶依頼先：小谷総主事、宮内理事、田中アジア地区会長  
招待：工藤さん、高橋さん(欠席回答あり)  
過去の在籍一覧(吉野さん作成)の誰に案内を送るかは吉野と利根川恵子で相談
- ③プログラム作成に関して 礼拝は澁谷所沢クラブ会長に依頼
- ④東武ホテルとの打ち合わせには鎌田さん同行
- ⑤予算案(別紙)説明 山崎さん

### (2)3月例会日程および2月例会について

- ・3月例会;3月22日(金)18:00 川越YMCA 兼アールリーダーの卒業祝い
- ・2月例会 卓話は宮澤新樹氏 2月23日(土)16:00

### (3)紅赤ファンドについて(報告)山崎さん

- ・2018年度会計報告
- ・YMCAの椅子を更新したい。→了承

## 5. 閉会点鐘

## YMCA 報告

連絡主事 河合 今日子

### <2/11~2/22 フィリピンワークキャンプ>

埼玉YMCAはフィリピンのパンガシナンYMCAとパートナーシップを結び、青年の友好ワークキャンプを中心に30年にわたり交流を続けています。今年は、キャンパー3名とスタッフ2名計5名でワークキャンプへ出発します。

事前研修会ではキャンパーのキャンプに向けた様々な思いが語られましたので、ぜひ帰国後の彼らの報告にご期待ください。

## 今月の聖書の言葉から(編集後記に代えて)

吉野 勝三郎

聖書によると、イエス様の弟子パウロは3回伝道旅行を行ったとあります。この聖書の箇所は、最後の旅で、ローマに向かっている途中、船が難破し、しばらくマルタ島に滞在したと記されています。それが、冬だったということです。(下記地図の緑の線)地中海に浮かぶ小国、マルタ共和国の冬はどんな気候でしょうか？

私は、仕事でこのマルタ島に一度行ったことがあります。最終日の半日は観光ができました。パウロが滞在していたという教会も見学しました。季節は冬でした。日本程は寒くなかったような記憶がありますが、冬は冬です。マルタ島は、本物のBritish Englishを比較的安く学べる所として、日本人にも人気があります。



パウロはローマに着いた後、どうなったのでしょうか？